

2026年度 熊本県民体育祭オープン競技 第48回スポ協ゴルフ大会 Gシニア・Sシニア決勝

競技の条件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則(2023年1月施行)と本競技の条件・ローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、全ての事柄についての委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本競技は、競技委員会の作成した順位表が掲示された時点をもって終了したものとす。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
3. レッドペナルティエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する。
4. 排水溝、バンカー内の排水管は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝及び裸地は、その道路の一部とみなす。
6. 使用球の規格 セクション8ローカルルールひな型 G-3適合球リストを適用する。
7. 使用クラブの規格 セクション8ローカルルールひな型 G-1適合ドライバーヘッドリストを適用する。
8. ホールとホールの間での練習禁止 セクション8ローカルルールひな型 1-2を適用する。
ハーフターン待ち時間の練習は、「指定練習グリーン」のみとする。
9. プレーの中断と再開
(1)プレーの中断については、ゴルフ規則 5.7b,c,d に従って処する事。
(2)険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいた場合は、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出る迄プレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、その後、委員会よりプレーの再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則 5.7bに決められているような罰を免除する正当な事情がなければその競技者は競技失格とする。
(3)プレーの一時中止と再開の合図について
通常のプレーの中断:短いサイレンを繰り返して通報する。又は、本部より競技委員(代理可)を通じて、競技者に連絡する。険悪な気象状況による即時中断:短いサイレンを繰り返し鳴らして通報する。
プレーの再開:1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
※いずれもカートナビも使用する
10. 移動 正規のラウンド中の移動について、競技者は乗用カートに乗車・運転することができる。
11. 乗用カート搭載の GPS ナビならびに個々の距離測定器の使用を認める。但し、風速・高低差など 2 点間の距離以外の機能は使用できない。

12. 樹木保護のための巻物施設(巻網など)は、コースと不可分の部分とする。
13. 池に球が入った時の処置として事実が分かっているか、ほぼ確実な場合、確認が無くても池に入ったと見なす。同伴者立会いの上、最後に横切ったと思われる地点を決定し、ルールに従って処理すること。
14. コース内のヤードを標示する杭は動かさない障害物とする。
15. 動物による被害(猪・穴クマなど)及び異常なグランド状態と思われるものは修理地の表示(白線に青杭)がなくとも修理地とみなしマーカー及び同伴者に確認し救済をすることが出来る。
16. ジェネラルエリアにできた風穴はマーカー及び同伴者に確認し無罰で救済を受けることが出来る。
17. ティーイングエリア、グリーン周辺でOB杭が無い箇所についてはジェネラルエリアとする。 ジェネラルエリア:「バンカー、グリーン、ペナルティエリア」を除くエリア
※ボールの検索は3分以内とし、検索時間以内に確認できない場合は紛失球とする。
紛失球: 見つからない球が障害物の中にある、または異常なグラウンド状態の中にあることが分かっているかほぼ確実な場合
ロスト(紛失球)になる可能性がある場合は時間ロスを避けるため暫定球をお願いします。【処理】元の位置から1打罰

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングエリア付近に掲示して告示する。
2. ルール上、自己の取るべき処置に疑念があるときは、マーカーに確認(宣告)の上「第2の球」を打ってプレーしスコア提出前に競技委員長の判断を仰ぐ。
3. 悪天候や日没などにより、前半9ホールで競技成立の場合もある。
4. タイスコアの場合は競技規定によって決定する。
1位がタイスコアの場合はサドンデス方式によりプレーオフ。2位以下のタイスコアの場合はマッチング・スコアカード方式にて決定する。
5. コース内では携帯電話・スマートフォンの使用を禁止する。但し緊急時は除く。
6. スタートの呼出は一切行わないので、スタート10分前までにはティーイングエリア付近に待機すること。
7. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意すること。プレーを不当に遅らせた場合はペナルティを課す事がある。また、選手は予備球を必ず携帯すること。
8. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、練習は1人30球迄とする。また使用クラブは150y迄とする。(有料:500円)

競技委員長 西山千年

開催日:令和8年6月17日(水)

開催コース:赤水ゴルフリゾート